

年 月 日

# 論文目録

氏 名	印
-----	---

## 論 文

題 名	論文題名が外国語の場合は、和訳を附記すること
公表の方法 および 時 期	論文がまだ公表されていないときは、予定を記すること。公表とは、当該博士の学位を授与した大学等の機関リポジトリ、当該大学ホームページ、国立国会図書館においてインターネットの利用により提供されている状態を言う。  記載例) 学位を授与された日から、1年以内に同志社大学学術リポジトリにて公表予定。
冊数・頁数	

## 参考論文

題 名	印刷公表の方法 および 時 期	冊 数 頁 数
参考論文がない場合は、なしと記載のこと 参考論文が複数の場合は、列記すること (参考論文は別途提出)		

## 履 歴 書

履歴書作成  
年月日

どちらかに

2019年11月28日現在

ふりがな いまでがわ たろう	印	○	1991	(S. 3年)
氏 名	必ず自署のこと	男・女		4月28日生

ふりがな きょうとし かみぎょうく いまでがわどおり からすまひがしいる げんぶちょう	本籍地(国籍)	都 道 府 県
現住所 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	京 都	府
電話 (075) 251-3220		県

学歴・職歴等の項目別	西暦	年	月	学歴・職歴・学位・資格	卒業・修了・退学の別
学歴	自	2007	4	同志社高等学校	卒業
	至	2010	3		
	自	2010	4	同志社大学法学部法律学科	卒業
	至	2014	3		
	自	2014	4	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士前期課程	修了
	至	2016	3		
	自	2016	4	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程 (2015年4月～2016年3月 休学)	
	至	現在			
職歴	自	2017	4	今出川大学法学部 非常勤講師	
	至	2018	3		
	自	2019	4	独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員(DC2)	
	至	現在			
	自				
	至				
学位		2016	3	修士(法学)(同志社大学)	
資格					

誤記の場合は、二重線で抹消のうえ、訂正印を押印(修正液は不可)

休学歴がある場合は明記

研究科及び専攻を明記

高等学校入学以降を記載

常勤の職について、勤務先(役職等)を年次順に記載  
非常勤の職についても、特に教育・研究に関するもの  
について記載が望ましい専攻分野の名称、  
授与機関名を明記

学位論文審査に必要な資格を記入

〔注〕

- (1) 氏名は自署してください。
- (2) 本籍地は外国籍の場合、国籍を記入してください。
- (3) 卒業・修了・退学の別は、学歴について記載してください。
- (4) 学歴は高等学校入学以後の履歴を年次順に記入してください。  
なお、休学歴がある場合は明記してください。
- (5) 学位は修士以上の学位を記入してください。なお、学位には、専攻分野の名称、授与機関名等を付記してください。

# 研究業績一覧表

No. 1

氏名		今出川 太朗	自著でなくてもOK
項目	西暦	論文・著述・その他	
修士論文		例：「論文名」（●●大学修士論文） ※英語表記の場合は“論文名”	修士論文は、一番最初の項目としてあげ、論文の項目とは別立てして記載してください。
著書	単著の場合	書名、発行所名、巻号数（シリーズもの（全集、講座、叢書、双書等）の1冊である場合）、 著者名、総ページ数もしくは本人担当部分等 例：『書名』（発行所名）、著者名、全●頁 “書名”，発行所名、著者名、●pages ※英語表記の場合	原則として本人を含めて共著者名をすべて記載。ただし、共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名とすることも可
	共著の場合 (執筆担当箇所が明確になるよう記載)	『書名』（発行所名）、共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●章 タイトル●●」（pp. ●●～●●） “書名”，発行所名、共著者または監修者名等 *担当執筆箇所 第●章、タイトル●●, pp. ●●～●● ※英語表記の場合	
論文	単著の場合	論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 <i>学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものを記載。</i> 例：「論文名」、著者名、『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●● “論文名”，著者名、掲載誌名（巻・号），pp. ●●～●● ※英語表記の場合	原則として共著者名をすべて記載。ただし、共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可
	共著の場合 (執筆担当箇所が明確になるよう記載)	「論文名」、著者名（共著者・本人の氏名を掲載順に）、 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●● “論文名”，著者名（共著者・本人の氏名を掲載順に）、 掲載誌名（巻・号），pp. ●●～●● ※英語表記の場合	
研究発表	研究発表では 未来の業績 記載不可	題名、発表者名、発表学会大会名、開催場所等 例：「題名」、発表者名（○○学会第○○回大会（於○○大学）） “題名”，発表者名，○○学会，第○○回大会，於○○大学 ※英語表記の場合	共同発表の場合は、原則として共同発表者名をすべて記載。共同発表者多数の場合は、主な発表者と本人を記載し、他○名△番目とするこ
その他	適宜区分を設けて (翻訳、研究ノート、書 評、教材、特許等) 記載	(業績上参考になるもの) 「総説」、「学会抄録」、「依頼原稿」等にあつては当該記事のタイトルを 「報告発表」、「座談会」、「討論」等にあつては当該テーマを記載。 なお、辞典の項目執筆等はこの項目になります。	
翻訳	翻訳の場合	書名、発行所名、訳者名、総ページ数、原著者名、原著名等 例：『訳書名』（発行所名）、訳者名、総ページ数、 〔原著者名、原著タイトルなど〕	共訳の場合は、共著の場合に準じて、共訳者や本人担当部分がわかるように記載

[注] (1)項目は、著書、論文、研究発表（学会等での口頭発表）、その他に分け、各項目ごとにまとめて記入してください。  
 (2)論文・著述・その他は、著書はその発行所名、論文は掲載誌名、巻・号、掲載ページ等、研究発表は学会名、開催場所等を記入してください。